

# かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)  
電話 66-1311  
FAX 66-1314



## 福春分教会

昭和10年12月3日 設立

陽気ぐらしを目指して、たすけの輪を広げよう

今一手一つに、一步一步!

- \*初席者一名以上
- \*百万件のにをいがけ

創立百三十周年記念祭並六代会長就任奉告祭

立教184年(2021年)10月24日 執行

立教182年  
9月号

**おやさど**  
**学生生徒修養会**  
**高校の部 受講**  
 8月9日〜15日



笠岡からの参加者たち

立教182年「学生生徒修養会(学修)・高校の部」が、8月9日から15日にかけて親里で開催され、全国各地の道につながる高校生792人が受講し、笠岡からも7人が受講した。

期間中は、朝づとめ参拝に始まり、「レクチャー(講義)」「おつとめ勉強」「鳴物練習」「ひのきしん」「史跡めぐり」などのプログラムが実施された。受講生は、夏のおぢばで様々な形で

教えを学ぶとともに、友達と心を通わせ友情を育んだ。

**よふぼく勉強会開催**  
**テーマは「信仰のよろこび」**  
 8月月次祭後  
**育成部**

育成掛(中島誠治主任)は8月21日祭典終了後、午後1時30分から2時まで会議室でよふぼく勉強会を開催した。講師は掛谷富子坪生分教会前会長。

テーマは「信仰のよろこび」。先生はまず、今はそうはいかないがお道の話聞かせてもらえば、その足で電車に乗りどこにでも、おたすけに向かう。そういう自分であった事を話された。そして、自教会の現在の会長担任変更お運びの3週間前に事故に遭い骨折、入院を余儀なくされ、医者許可も難



信仰のよろこびを話される掛谷先生

しい中、痛む体を引きずり、親々の仰せのままにと病院からおぢばへかえり、皆に支え抱えられてやつとお許しを戴かれ、更には前真柱様より御労いの御言葉の最中、先生は、お言葉が聞こえづらく理だけ戴こうと頭を上げられた時、教祖にお会いになったという。その時の感激を話されたうえで、我々の信仰は感激信仰であり、それがなかったら前進もない。親の声にそのまま丸ごと動く時に、自分自身が何か感

**サマーキャンプ・わかぎのつどい開催**  
 8月21日〜23日  
**少年会**

少年会笠岡団(武内正美団長)のサマーキャンプとわかぎのつどいが、笠

岡大教会を会場に少年会員36人、育成会員15人の参加のもと、8月21日から23日の日程で笠岡大教会を会場に開催されました。引き受けて下さいました大教会、また楽しみに参加してくれた少年会員に御礼申し上げます。このキャンプは、火・水・風の親神様の御守護を肌感じると共に、たすけあいを実践し、そこに喜びと感謝を体得する、少年会員の育成を目的に実施された行事です。

今年、大教会の祭典終了後14時より開講式を行い、続けて入村式を済ませた後、天候の関係で大教会のピロティに皆で協力してテント設置を行いました。初参加の子も居る中、育成会員の指導のもと、わかぎをリーダーに、たすけあいの精神で無事に組み立てました。テント設置後、夕食のカレーの準備に取りかかり、自分達の食べるお米の飯盒炊爨をしました。火を起こす子、お米を研ぐ子、食器の準備をする子、野菜を切ったりカレーの調理をしたり、それぞれに役割分担をしました。無事にご飯も炊き上がり、普段とはひと味もふた味も違う夕食を堪能しました。夕食後はおつとめ、そして夜はキヤンドルフアイヤー。キャンプファイ



慣れない味噌汁作りも楽しみの一つ

ヤーの様に大きな燃え上がる炎ではありませんが、静かに揺れるたくさんのロウソクの火は子供達を温かく照らしていました。育成会員による歌やゲームで盛り上がり、班ごとに練習をしていた一芸を披露。趣向を凝らしたクイズや、流行の芸人のギャグ、歌いながらのダンスなど、はにかみながらも班の仲間と共に場を盛り上げました。1日の終わりにテントで就寝。いつもと違う環境や、友達が周りに居ることで、つつい夜更かしをする子もちらほらと。

2日目は朝のおつとめ後、朝食作り。前日の経験を活かしての火起こしは手際良く済ませ、お味噌汁も作りました。自分達で味付けしたお味噌汁の味は、多少しよっぱくても、薄くても格別なもの。朝の腹ごなしも終えて、心待ちにしていた海水浴へ。白石島に渡るフェリーも子供達には楽しい非日常の一時。島では目の前に広がる瀬戸内海と広い砂浜、真夏の太陽の下、暑さをものともせず子供達ははしゃぎでました。また、班対抗の砂浜でのゲームでは、埋まり方で芸術点を競ったり、打ち際での透明な石を使った宝探し等、夢中になって楽しみました。一つ残念な事は、クラゲが大量に発生しており、刺された子供が多かったことです。痛い思いや、怖い思いをした子供達には大変申し訳ありませんでした。海で十分に遊んだ後は、大教会でBBQ。思いっ切り体を動かした後なので、お腹もぺこぺこ。空腹こそ最高のスパイスと、最高に美味しい夕食となりました。夜は恒例の肝試し。大きな悲鳴を上げる子も居れば、涼しい顔でおぼけ役の先生をおちよくる子も。藪の子供達を待ち受けていたおぼけ役の先生方は、あちこち蚊に刺されながらも、子供達の楽しそうな表情を見て、痒さを忘れるくらい喜びました。2日目の終わりは連日の疲れからか、昨晩よ



パッククッキング

りも静かに、ぐっすりと就寝。3日目の朝は、会場として使わせてもらった大教会に御礼を込めてひのきしん。その後全員で協力して撤収作業。3日間キャンプで使わせて頂いた物品を、来年も又仲良く使わせてもらえるように、丁寧に整理整頓して片付けをしました。撤収後は昼食のパッククッキングに取りかかりました。パッククッキングとはポリ袋に食材を入れて湯煎で火を通す調理法です。災害時でも、日常でも、一人暮らしでも、お子さんでも簡単に作れるので、もしもの時に備えて覚えておくのが便利です。とても簡単な方法で出来る事に目を丸くしながら、昼食を皆で美味しく頂きました。



3日間の思い出を胸に、笑顔で散会

ました。その後閉講式を神殿で行い、2泊3日のサマーキャンプの全行程を無事に終了しました。海水浴でクラゲの被害はありましたが、大きな事故、病気や怪我もなく、皆、元気に親神様の御守護のもとお連れ通り頂きました。ありがとうございました。また御協力頂きました各方面の皆様方、誠にありがとうございました。来年も元気いっぱいの子供達に会えるのを楽しみにしています。今年参加した子も出来なかつた子も、たくさん友達を誘って来年のキャンプに参加してくれるのをお待ちしております。(少年会委員 岡崎 治 喜)

**第3回**  
**「元の理勉強会」開催**  
**布教部**

布教部(田中隆之部長)は8月25日、笠岡詰所で、第3回「元の理勉強会」を開催した。

この勉強会は、にをいがけおたすけに役立つ教理の研鑽と知識の習得を目的に実施され、「元の理」に詳しい甲賀大教会・岡田悟先生をお招きし、4回シリーズで行われている。先生は平易な語り口で元の理を解説され、毎回、大勢の受講者が集い熱心に耳を傾けている。

今回は「元の理とおたすけ」をテーマに行われた。87人の受講者は先生の



3回目の演台に立たれる岡田先生



熱心にメモを取る聴講者

作成された資料を手に、教説を聞きながらメモをとる姿があちらこちらで見受けられた。

次回第4回は、12月21日、午後1時30分より笠岡大教会で開催。受講費500円、申し込み不要でどなたでもご参加できます。

**若人のつどい開催**

弟子会長委員会  
 教育成委

教会長子弟育成委員会(森本忠善委員長)は、9月2日、若人のつどいを



園内の旧施設を見学

開催した。

今回は、「学び・考え・動く」をテーマに、国立ハンセン病療養所長島愛生園(岡山県瀬戸内市)でつどいを実施し、52人が参加した。

参加者らは、まず長島愛生園歴史館で、ハンセン病と愛生園の概要、それに伴う差別の歴史、現在の課題などを、学芸員の解説や、展示物、ビデオを通して学んだ。続いて実際に園内を歩き、収容所跡や納骨堂などを見学した。

午後からは、天理教とハンセン病の歴史を学ぶ時間をもたれた。古くは、教祖がハンセン病のおたすけをされた事に始まり、二代真柱様が、長島愛生



様々な展示物からハンセン病を知る

園に3度にわたり宿舍を寄付している事などが紹介された。また、天理大学



グループで感じた事を話す



天理便、現地参加も含め52名

成人会では、昭和40年よりハンセン病患者(現在、日本にはハンセン病患者はいない)のお世話取りひのきしんを現在まで続けており、天理大学生の森本忠一さんが、お世話取りの様子を話した。

最後に園内にある布教所「天理教誠心会」(本部直轄で、ハンセン病を患いながらも、熱い信仰心を持って通ってきた方々の話を、担当の先生より聞いた。

この日、参加者は、教祖をはじめ先人の方々の、分け隔てのないおたすけの姿勢を感じるとともに、差別のない、いちれつきょうだいの世界を築くため



広い講堂いっぱい作業を進めた

婦人会は去る9月3日・4日に詰所ならびに大教会の毛布の襟つけひのきしんを呼びかけてしていただきました。

3日の午前中は例会としておつとめ

**毛布襟つけひのきしん**  
9月3日・4日  
**婦人会**

に、今、自分にできる事は何かを考え



キレイに仕上がった500枚の毛布

を勤めた直轄の委員部長も、午後は朝からのひのきしんの方々に加わって、56人参加。

翌4日は朝から55人で、修繕用のミシンなども使用して、賑やかに実施されました。

このひのきしんは、気軽に年輩の方にもやっていただけるので有難いです。できれば男性にも、仕上がった毛布を又10枚ずつまとめてヒモで縛るといふ作業が力が入用ですので、参加していただければうれしいです。

今年もお陰で約500枚の毛布に襟がつきました。御協力下さった皆さんありがとうございました。

(婦人会ひのきしん係 上原順子)

**家族円満**  
**アーカイブス**

「家族円満」  
1,000回記念

ラジオ 天理教の時間

<https://www.tenrikyo.or.jp/yoboku/radio/>

## 八月月次祭祭文

此の笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様には人間の陽気ぐらしを楽しみに 天然自然のお働きを通して絶え間なく御守護を下さっているばかりで無く 「月日にハセカイぢうゝハみなわが子 たすけたいとの心ばかりで」と常に親心をおかけ下され陽気ぐらしへとお導き下さっております事は誠に有難く勿体ない極みでございます 私共は日々ご恩報じを願つてたすけ一条の上に努め励ませて頂いておりますが おたすけを通して「見るもいんねん聞くもいんねん」とお聞かせ頂くように自分自身がいんねんにも気付かせて頂き 戸惑いつつも勇んでたすけ一条のご用の上に勤め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日は八月の月次祭を執り行う日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同喜び感謝の心も一入に 明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめさせて頂きます 今日の日を楽しみに御前に寄り集いました道の子供達が 相共にお歌を唱和し 日頃のご高恩に言改めて御礼申し上げます 尚も変わらぬ親心にお縋りする状をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて今年の子供おぢば帰りも結構にお連れ通り頂き誠に有り難うございました 長かった梅雨も直前に明け晴天続きの大変暑い日々でしたが 大きな事故怪我も無く笑顔一杯の子供達の姿を見れて 引率する私達も大変喜ばせて頂きました 又続いての英語講習会や学生生徒修養会に参加した子供達も大いに喜び学ばせて頂きました 参加してくれた子供達を通してたすけの輪が広がるよう 今後の丹精にも力を注いで行く所存でございます 加えて本日からの三日間少年会のサマーキャンプを実施させて頂きます 野外での活動になりますので どうぞ事故怪我等の無いようお連れ通り下さいますようお願い申し上げます 更には又来月はをいがけ強調月でございます 初日の九月一日には若人の集いを開催し たすけ心を更に磨き率先してにをいがけが出来るよう丹精させて頂き にをいがけに勇ましくて頂く所存でございます そして月末の全教一斉にをいがけデーには一人でも多く参加させて頂き百万件にをいがけに拍車をかけていきたいと思っております

何卒親神様には 厳しい残暑をものともせず親孝心一筋にたすけ一条のご用に励む皆の誠実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上により一層の御守護を賜り世界中の人々が親心に触れ一列兄弟の理に目覚めて 互いに欲を忘れて助け合って陽気ぐらしが味わえるようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

スマホで読める  
陽気ぐらし情報



月曜更新 無料

JOYOUS LIFE!  
ますます充実!



<https://joyous-life.net>

立教百八十二年 八月月次祭 祭典役割表

祭主		扈者		講話		指図方		賛者	
大教会長様	今川昌彦	森本忠善	杉原博之	大教会長様	大教会長様	岡田誠	高木昭祥	岡田誠	上原繁道

  

役割	区分	地方			おつとめ			てをどり		
		吉岡	上原	内海	大教会	上原	上原	大教会	田中	虫明
坐り勤		吉岡 壽	上原 浩	内海 史郎	大教会 長様	上原 明勇	上原 繁道	大教会 奥様	田中 ますみ	虫明 好美
前半		谷内 伸自	杉原 博之	浅野 明教	田中 隆之	中島 誠治	上原 浩	谷内 美知子	門脇 加津	横山 小智榮
後半		上原 志郎	横山 逸郎	三代 温生	門脇 元教	岡崎 真一	中村 道徳	武内 正美	吉岡 八恵	山野 なつ

教会おとまり会の報告

吸江隊

実施日 元年8月12日・13日  
 参加者数 少年会員15 育成会員12 計27  
 プログラム おつとめ・おはなし・鳴り物・ひのきしん・おてふり練習 水鉄砲・夏休みの宿題・プール・花火・ホームシアター  
 感想 教会内が暑かったため、屋外で水鉄砲を持ち寄り遊んだら、とても楽しんでた。婦人会に加え、若いスタッフも増えて多勢のひのきしんにありがたかった。  
 おつとめ練習もとても真剣にとりくみ、朝早くから希望の鳴り物で練習して、朝づとめをにぎやかにつとめた。

早・62歳。

先般、本部勤務時代のメンバー数人でその時お世話になった先生を囲んで懐かしい楽しい一時を過ごさせて貰いました。22歳から3年間で共に過ごしたメンバーも全員還暦過ぎ、先生も七十代後半昔話に花が咲く一方あの頃は道の勢いも凄かったなあり、しかし正にバブルだったよな、と。「おやさま百年祭」に向かう数年前のころの話、白川駐車場の30万坪の用地買収の際、先生のお伴である方にお目にかかりこつびどく叱られたこと、週刊ポストの取材に対応したこと等々、色々話も弾み、しかし今の現状は本当に厳しいよね、と何か身につまされる思いも感じつつ、それでもお互い身体に気を付けて頑張りましょう。と再会を約し別れました。

ある大企業の創業者の著書の中にピンチに遭遇したときこそチャンスがある、我が社はその度に成長した。と述べておられました。学ばべきかもね (K・T)



一年ぶりの「よりみち」の寄稿、毎度の事ながら頭が痛い。さてさてと思いつつ日が過ぎる、こんな調子で

# ★女子青年大会

in おぢば

おぢばにて第29回女子青年大会が開催されます！！

おぢばでの開催は数年ぶりです！この機会にみんなでおぢばがえいしませんか？！♡

式典はもちろん、他にも楽しいことを企画しております(～♪

ートでも多くの方の参加をお待ちしております♡

## 【11月2日】

- 7:30 大教会にて受付
- 7:45 出発
- 12:00 ランチ(バイキング90分!)
- ★JR奈良駅のすぐ近くにある  
ピアッツァホテル3階の  
「ラ・フェスタ」でランチ!!
- ★その後、奈良街を散策!!
- 15:15 奈良公園バスターミナル出発
- 16:00 詰所到着予定  
休憩・レクリエーション・班発表
- 17:00 詰所出発
- 17:30 タづとめ
- ★「よるこびフェスティバル」参加!
- 20:00 詰所到着予定  
おやすみ行事  
入浴
- 22:00 消灯

## 【11月3日】

- 6:00 起床  
おつとめ(詰所にて)
- 朝食
- ひのきしん
- 8:30 詰所出発
- 9:00 本部到着  
三殿参拝
- 10:00 女子青年大会式典(本部中庭)  
終了後詰所に移動  
昼食(詰所にて)
- 13:00 支部の集い
- 14:45 終了予定  
詰所出発
- 18:45 大教会到着予定  
解散



第1切 9月21日

最終切 10月3日

**参加費 ¥8000**

※別席の方は、3日の午後席を受けて頂きます。

※部分参加の方、または不明な点等ございましたら担当者、または委員長田中までご連絡ください。

※申し込みは各教会から笠岡大教会女子青年担当者までお申込みください。